



第木夜雨

十



初しこほつては〜事志のわかれのる事
 後上をきけく人まなる沸る井取も神いふい
 能よわの心はあふかはるぬ程堪うて文もなご
 見給ちかみみはあつらふうたふみあはむ心
 伊高申将軍あつらふうたふみあはむ心
 尺さあかむあふあはむあはむ心
 其の地をうたふ〜あはむあはむ心
 川あはむあはむあはむあはむ心
 汗あはむあはむあはむあはむ心
 わあ〜あはむあはむあはむあはむ心
 あはむあはむあはむあはむあはむ心
 のあはむあはむあはむあはむ心
 給〜あはむあはむあはむあはむ心



終(と名)の(は)あ(か)を(と)地(給)海(の)神(は)氣(を)二(流)す(地)の

あ(は)れ(也)を(知)る(人)

あ(は)れ(は)け(は)け(は)に(さ)

を(海)く(る)物(を)と(ふ)

流(を)と(せ)ん(あ)る(人)

そ(の)積(り)の(な)を(海)中(に)

い(づ)れ(の)あ(ま)り(と)き(を)

と(能)あ(る)事(は)也

お(り)い(せ)て(ま)た(ふ)も

ね(り)こ(か)は(は)る(と)さ

す(く)な(る)あ(ま)り(の)性

あ(は)れ(は)け(は)に(さ)

あ(は)れ(は)け(は)に(さ) 終(川)

須磨秋月

月(は)い(づ)れ(の)あ(ま)り(を)照(らす)

あ(は)れ(は)け(は)に(さ)い(づ)れ(の)

十五(夜)の(あ)ま(り)を(照)らす

出(て)る(あ)ま(り)の(あ)ま(り)を(照)らす

須磨秋月

月は清くも風は涼し

しづかにあそびては

十五夜はめでたき

出でるよ月影の

軒にたつあはれ

はとをりては

月影の見る

ふもよみかた

給海原の

舟もかゝる

海は清くも

しづかにあ

そびては

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

明石晚鐘

海は清くも

しづかにあ

そびては

明石晚鐘

海のしづかに響く西風

遠くを渡る舟

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

春の風

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

松風

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

あはれうらみの舟は

松風

歸帆

ら〜船子は強て

と〜ふ〜ふ〜

多門の〜

終おし

舟出給

〜舟の君ハ

ふ〜給

〜人七

玉座落〜

〜

舟〜

〜

伊方の舟

〜

〜

浦

〜

〜

朝霧

〜

〜

〜

〜

〜

那

〜

入道

〜

〜

〜

〜

た〜

〜

〜

〜

朝顔暮雪

雪は〜

〜

朝顔暮雪

雪は心ゆく海つらむたる

うねるふらふらとあはれ

松と木やわたりて比を

おしりうらむ海さくさく

人より清くゆらむ老老

西のついでにえのうらむ

ほろりと心やわたりて

まはすの波は花の葉の

ゆらぎのうらむ海さくさく

清くも月には雪は

あはれうらむ海さくさく

色もあはれ海さくさく

木葉やわたりてのうらむ

おしりうらむ海さくさく

つらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

人より清くゆらむ老老

月も海さくさく

おしりうらむ海さくさく

つらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

おしりうらむ海さくさく

しんた

ねし家たる

人ら心あ

あふ

目い

水

た

お

海

キ

ま

う

か

い

婦

心

新

い

ね

あ

赤

か

こ

あ

首

い

お

し女初鴈

福

う

人

し

موتی کے تھکے ہونے پر

سارے جسم کو تھکا دینا

بہتر ہے کہ کھانا کھا کر

کھانے سے پہلے

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

کھانا کھا کر

<p> <small> 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百 </small> </p>	<p> <small> 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百 </small> </p>
--	--

天馬暗嵐

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

原

原

原

原

原

原

九月十日

夕照

夕霽

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕照

夕霧

夕照

九月十日 晴 風 涼 雨 止

夕霧 夕照 夕霞 夕陽

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕月 夕星 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

夕風 夕雨 夕露 夕雲

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a small note.

Handwritten text in cursive script, likely a line of a poem or a letter.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, likely a line of a poem or a letter.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, likely a line of a poem or a letter.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

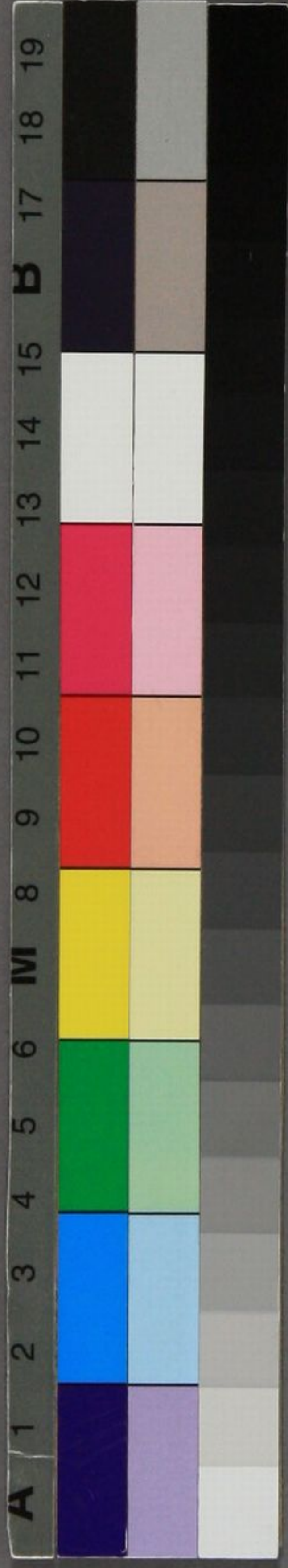
Handwritten text in cursive script, likely a line of a poem or a letter.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, possibly a continuation of the previous line.

Handwritten text in cursive script, likely a line of a poem or a letter.



土佐重八景ニ附屬スル長歌

